

第7回（仮称）印西市歴史文化施設基本計画策定委員会 会議録

1. 日 時 令和6年2月29日（木）15:30～17:00
2. 場 所 印西市役所4階 41会議室
3. 出席委員 ◎高橋克委員、○榎美香委員、西山純子委員、三石宏委員、早川博史委員
伊藤哲之委員、西田裕子委員、岸上誠委員、本田正幸委員
（◎委員長、○副委員長）
4. 事務局 印西市教育委員会生涯学習課 飯島課長、菅谷係長、根本主任学芸員
5. 傍聴人 2名
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 会議録署名委員の指名
 - 3 議事
 - （1）市民意見公募（パブリックコメント）の結果の報告
 - （2）（仮称）印西市歴史文化施設基本計画（案）の検討
 - （3）（仮称）印西市歴史文化施設基本計画概要版（案）の検討
 - 4 その他
 - 5 閉会

7. 会議録

- 1 開会
事務局 : ※今後のスケジュールを説明
・本会議は、設置要綱第3条に基づき計画が完了した日までとする。
・今後は教育委員会定例会会議に諮り、内部決裁を取り、3月中に計画策定をする。
- 2 会長挨拶
- 3 会議録署名委員の指名
委員長 : 岸上委員を指名する。
- 4 議事
 - （1）市民意見公募（パブリックコメント）の結果の報告
事務局 : ※資料1 市民意見公募の結果を説明
事務局 : 本計画は基本方針を定めるもののため、頂戴した意見が具体的な内容に及ぶものは「今後の参考とするもの」とした。また、施設整備計画に関しては特にご意見がないため承知いただけましたものと理解している。
委員 : パブリックコメントで得た意見すべてが計画を否定するものであった場合は、計画自体がなくなるということか。今回は市民から基本的な合意をいただけたと理解して良いのか。
事務局 : 今回はご理解の通り、市民から合意をいただけましたものと判断している。
委員 : パブリックコメントの実施は今回限りなのか？場所や規模など未定の事柄が多いため市民から意見が出にくいのではないか。内容が具体的に変わった時点で、再度、パブリックコメントを行う可能性はあるのか？
事務局 : 具体的な内容になった段階で改めてパブリックコメントを行うことはありうる。

(2) (仮称) 印西市歴史文化施設基本計画(案)の検討

- 事務局 : ※資料2(仮称)印西市歴史文化施設基本計画(案)について説明
- 委員 : 今後はどのような流れを予定しているのか伺いたい。
- 事務局 : 庁内の関係部署と連携し、市としての方針を固めていく予定であるが、実施計画等の作成に着手する時期は未定である。
- 委員 : 本委員会やパブリックコメントで出た意見は、実施計画等を作成するに際して活用されるのか。
- 事務局 : 頂いた意見は記録として残るため、今後の検討に活用される。
- 委員 : 基本理念(P.8)の文言について「水と台地が」を「水と台地と」に変更できないか。印西市の歴史・文化は水と台地も重要ではあるが、人も重要であるので文言の変更を検討していただきたい。また、テーマ構成(P.37)の「水と台地が生んだ」は「水と台地が育んだ」ではないか。
- 委員 : 基本理念は「水と台地に育まれた」としてはどうか。
- 委員 : 変更する文字数を気にしなくてよいなら「水と台地に育まれた」とするのがよい。基本理念の文言修正にあわせて本文の関連箇所を修正してほしい。
- 事務局 : 修正する。
- 委員 : 基本理念(P.8)の「つなぎ」の後だけに読点がつくのが気になる。
- 委員 : 前回資料と比べて展示内容に自然要素が無くなったようである。
- 事務局 : 紙面の修正に伴いテーマ構成からは削除されているが、自然要素は導入展示で紹介する想定である。
- 委員 : テーマ構成(P.37)にある「民俗」を「くらし」としてはどうか。
- 事務局 : 修正する。
- 委員 : テーマ構成(P.37)の「ニュータウン」という言葉が50年後、100年後も該当するか気がかりである。また、現代や未来を扱うとなると常に展示更新する想定なのか。
- 事務局 : 「未来のニュータウン」のコーナーは来館者が未来の印西市についてメッセージを残していく展示であるため常に更新される想定である。
- 委員 : 「ニュータウン」という言葉だと地域を限定した展示のように捉えられるので、たとえば「未来の印西」としてはどうか。
- 委員 : ローマ字で「未来のINZAI」としてはどうか。
- 委員 : テーマ表記とあわせて個別テーマの表記も「INZAI」とするか？
- 事務局 : 修正する。
- 委員 : 印旛歴史民俗資料館(以下、「民俗資料館」とする。)の縮小版のようなイメージでいたが、市域全体を紹介するとなると民俗資料館よりも広いスペースが必要ではないか。
- 委員 : 印旛沼での漁業や養蚕などに加えて、ニュータウン整備も紹介するとなると、現在の民俗資料館以上の展示スペースが必要である。
県内のとある自治体の博物館では埋蔵文化財センターが前身ということもあり、展示の8割を埋蔵文化財資料が占める。何を展示のメインとするかで面積配分が異なる。民俗資料館の現在の展示を活かすとなると、現状以上の展示面積は必要である。
- 委員 : 印西市史編さん委員会の中世部会が作成している地図が活用できるのではないか。

- 委員 : 当初、関係団体へのヒアリングを予定されていたが実施されたのか。
事務局 : 検討状況や実働のスケジュールをふまえて取りやめとなっている。

(3) (仮称) 印西市歴史文化施設基本計画概要版(案)の検討

- 事務局 : ※資料3(仮称)印西市歴史文化施設基本計画概要版(案)を説明
委員 : 概要版の使用方法について伺いたい。
事務局 : 公民館等での配布やインターネットでの公開を予定している。
委員 : 5展示計画内のイメージ図が大きく、このような展示ができあがると思われるのではないか。
委員 : 展示のどの部分のイメージなのか記載したほうがよい。
事務局 : 導入展示イメージと記載する。
委員 : 3事業活動計画Aであい・交流のイメージ図は、必ずこのような事業が行われると思われる。実施できる保証のあるもののイメージを掲載したほうがよいのではないか。
委員 : あくまでもイメージであることを注釈してはどうか。
事務局 : ご意見をふまえて対応を検討する。
委員 : 8事業推進計画の説明文中で、民間事業者の「民」の字が抜けている。
委員 : 1計画の背景について文章量が多い印象である。市民に向けた説明なので字を大きくしたり、エッセンスのみを掲載したりするなど、手にとってもらいやすいよう工夫をしてはどうか。また、文章は「ですます調」にするとよい。
委員 : 8事業推進計画の説明文中にあるDBOやPFIには注釈をいれないのか。
委員 : アルファベット部分を削除しても内容が通じるのではないのか。
委員 : 概要版なので削除し、詳細は本編をご覧頂く方向で良いのではないのか。
事務局 : 修正する。
委員 : 概要版等を読んだ市民から様々な意見が寄せられると思う。まだ検討の余地がある段階で市民に公開することは意義のあることだと思う。最初の頃の委員会において、検討段階も含めて市民に公開することで、市民と一緒に作りあげていくような進め方をイメージされていたかと思う。今後もそのような進め方をしていただくとよい。

5 閉会

- 事務局 : 完成した基本計画書は委員の皆様にお送りする。

【会議資料】

- ・資料1 市民意見公募(パブリックコメント)の結果
- ・資料2(仮称)印西市歴史文化施設基本計画(案)
- ・資料3(仮称)印西市歴史文化施設基本計画概要版(案)
- ・参考資料 第6回(仮称)印西市歴史文化施設基本計画策定委員会 会議録

令和5年度第7回（仮称）印西市歴史文化施設基本計画策定委員会会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和6年3月8日

（仮称）印西市歴史文化施設基本計画策定委員会

会議録署名委員 岸上 誠
